

片頭痛

⑤ 治療

① 軽症片頭痛・トリプタン禁忌患者の場合

- ① ロキソニン 60mg 1錠 頓 1日3回まで
- ② ナウゼリンOD錠 嘔気、嘔吐を伴う場合 1回1錠 同時服用

② 中等症以上ではトリプタン製剤を使う。

- ①レルパックス 1回1錠20mg頓 } [効果はそれほど強くないが、即効性あり。中枢副作用は少ない。

1回最大量は2錠まで。1日最大量も2錠まで。

- ②ゾーミック 1回1錠2.5mg頓 } [効果は優れているが全身倦怠感やアロディニアが出やすい。

効果不十分：次回から1回5mg投与可。

投与間隔2時間以上。1日10mg（4錠）まで。

- ③マクサルト 1回1錠10mg頓 } [効果は優れているが全身倦怠感が出やすい。

効果不十分：前回から2時間以上あけて1錠追加投与可。

1日最大量は1日2錠まで。

インデラル服用時はマクサルト頓用は禁忌となる。

- ④イミグラン 1回1錠50mg頓

効果不十分：2時間以上あけて追加投与可。

次回から1回2錠100mg投与可。

1日200mg（4錠）まで。

- ⑤アマージ 1日1錠2.5mg頓 } [効果はそれほど強くないが、半減期が長く、持続時間の長い片頭痛に適する。

効果不十分：前回から4時間以上あけて追加投与可。

1日5mg（2錠）まで。

使用上の注意

- ①レルパックスとマクサルトは効果発現が早い。
- ②レルパックスとアマージは血中半減期が長く、24時間以内再発がみられる場合に有効である。
- ③1回最大投与量はイミグラン、ゾーミッグ、レルパックスは2錠で、マクサルトとアマージは1錠である。
- ④1日最大投与量はイミグラン、ゾーミッグは4錠で、レルパックス、マクサルト、アマージは2錠である。
- ⑤禁忌は心筋梗塞、虚血性心疾患、脳血管障害（含むTIA）、コントロール不良の高血圧、併用禁止薬内服中、脳底型片頭痛、家族性片麻痺型片頭痛、眼筋麻痺型片頭痛など。
- ⑥効果不十分な場合にNSAIDsを同時服用すると有効な事もある。
- ⑦悪心、嘔吐を伴う場合、ナウゼリンOD錠を同時服用させる。
- ⑧使用後24時間以内はクリアミン併用は禁忌である。

③重症片頭痛では、イミグランキット皮下注（自己注射）を用いる。

（他に点鼻薬もあり。）

- ① キット皮下注（コハク酸塩）3mg
1回3mg 皮下注。
1日2回6mgまで。
追加投与は前回から1時間以上あける。
イミグラン錠を初回投与して、追加投与をキット皮下注で行うときは2時間以上あける。
- ② 頭痛改善度

皮下注10分後	30.0%
60分後	93.9%
- ③ 頭痛消失率

皮下注20分後	15.2%
60分後	51.5%
- ④副作用
倦怠感、胸部圧迫感、脱力感、嘔気、眠気

片頭痛

予 防

発作頻度が多い場合（週2回以上）または頻度が少なくても重症の場合は発作予防治療の適応となる。

- ① ミグシス5mg 1回1～2錠 1日2回
- ② デパケンR200mg 1回1～2錠 1日2回
- ③ インデラル10mg 1回1～2錠 1日3回
ただしインデラル服用時には、マクサルト頓用は禁忌となる。
- ④ トリプタノール10mg 1回1/2錠～6錠 1日1回夕食後or就寝前
1/2錠～漸増する。